

1.17～3.11 来たるべき災害に備える連携力

- 土業の社会的役割を考える -

2015 年 1 月 31 日 (土)

< 開催時間 >

全体会 13:30 ~ (受付 13:00 ~ / 終了予定 16:30)

分科会 10:00 ~

< 会場 >

兵庫県弁護士会館 4 階講堂

(神戸市中央区橋通 1-4-3 TEL: 078-362-8700)

■ 鼎談 『支援機構の歩みと、連携の意義・課題』

歴代代表: 広原盛明氏 (京都府立大学元学長・名誉教授),

高見澤邦郎氏 (東京都立大学名誉教授),

塩崎賢明氏 (神戸大学名誉教授)

進行: 斎藤浩氏 (弁護士・立命館大学法科大学院教授)

■ パネルディスカッション

『「連携力」とは何か～市民と行政と地域が土業に求めるもの』

パネリスト (50 音順): 及川雄介氏 (仙台弁護士会), 大町勝氏 (兵庫県まちづくり部長),

野崎隆一氏 (神戸まちづくり研究所事務局長), 平山洋介氏 (神戸大学教授)

進行: 津久井進氏 (弁護士・当機構事務局長)

■ 各分科会報告

■ 分科会 (午前中開催 / 裏面参照)

- ①「すまいとくらしの復興支援: いまそしてこれから」,
- ②「被災地の鑑定評価」, ③「1.17 と 3.11 を振り返って」,
- ④「1.17 と 3.11 から考える土業の社会的役割と来たるべき大災害に備えて」,
- ⑤「福島第一原発事故の現状と土業の社会的役割」, ⑥「災害復興と住宅政策の展望」



■ 主催: 阪神・淡路まちづくり支援機構

TEL 078-362-8700 (受付時間 午前 9:00 ~ 正午 / 午後 13:00 ~ 午後 17:00)

構成団体 兵庫県弁護士会, 大阪弁護士会, 近畿税理士会, 近畿司法書士会連合会, 土家屋調査士会近畿ブロック協議会, 近畿不動産鑑定士協会連合会, 公益社団法人日本建築家協会近畿支部, 近畿建築士会協議会, 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会近畿ブロック協議会, 公益社団法人日本技術士会近畿本部, 兵庫県社会保険労務士会, 兵庫県行政書士会

< 後援予定 >

関西広域連合, 兵庫県, 神戸市, 日本建築学会近畿支部, 災害復興まちづくり支援機構, 宮城県災害復興土業連絡会, 静岡県東海地震対策土業連絡会, 神奈川県大規模災害対策土業連絡協議会, 広島県災害復興支援土業連絡会, 札幌地域災害復興支援土業連絡会



阪神・淡路まちづくり支援機構

被災地における市民のまちづくり支援

無料・予約不要

1.17は忘れない



伝える
備える
活かす

防災マスコット
ははタン

阪神淡路 20 年



1.17 ~ 3.11 来たるべき災害に備える連携力 - 土業の社会的役割を考える -

「阪神・淡路まちづくり支援機構」は、阪神・淡路の被災地で市民のまちづくりを支援するために設立されました。震災から 20 年の節目に、これまでの支援機構の歩みを振り返った上で、課題を明らかにします。そして、「連携力」とは何か、市民との連携、行政との連携、地域間の連携のあり方を考えて、来たるべき災害に備えます。

全体会 2015 年 1 月 31 日 (土) 13:30 ~ 16:30 (予定) 兵庫県弁護士会館 4 階講堂

■鼎談『支援機構の歩みと、連携の意義・課題』

歴代代表: 広原盛明氏 (京都府立大学元学長・名誉教授), 高見澤邦郎氏 (東京都立大学名誉教授), 塩崎賢明氏 (神戸大学名誉教授)
進行: 斎藤浩氏 (弁護士・立命館大学法科大学院教授)

■パネルディスカッション『「連携力」とは何か～市民と行政と地域が土業に求めるもの』

パネリスト (50 音順): 及川雄介氏 (仙台弁護士会), 大町勝氏 (兵庫県まちづくり部長), 野崎隆一氏 (神戸まちづくり研究所事務局長), 平山洋介氏 (神戸大学教授)
進行: 津久井進氏 (弁護士・当機構事務局長)

■各分科会報告

■第 1 分科会 <復興まちづくり> 主幹: 兵庫県弁護士会 土地家屋調査士会近畿ブロック協議会

『すまいとくらしの復興支援: いまそしてこれから』
東日本大震災の復興まちづくり支援の現状と課題を検討し、今後の指針づくりをめざします。

出演: 気仙沼の被災者, 宇都彰浩氏 (仙台弁護士会), 加藤三郎氏 (福島県司法書士会), 野崎隆一氏ほか

協力土業: (公社) 兵庫県不動産鑑定士協会, 兵庫県司法書士会, (公社) 兵庫県建築士会ほか

10:00 ~ 12:30 兵庫県弁護士会館 講堂

■第 2 分科会 <復興・原発と鑑定> 主幹: 近畿不動産鑑定士協会連合会

『被災地の鑑定評価』

岩手の用地買収の補償と福島の汚染地の補償の実情を知り、比較検討をします。

講師: 細川卓氏 (岩手県不動産鑑定士協会会長) 小橋達夫氏 (福島県不動産鑑定士協会会長)

10:00 ~ 12:30 兵庫県弁護士会館 会議室

■第 3 分科会 <災害時の制度と専門家の役割> 主幹: 近畿税理士会

『1.17 と 3.11 を振り返って』

各土業 (税理士, 社労士, 行政書士等) の災害時の具体的な役割を振り返り、今後に備えます。

講師: 池田政弘氏 (東北税理士会) 村山豪彦氏 (兵庫県行政書士会会長) 松永和美氏 (兵庫県社会保険労務士会)

協力土業: 兵庫県社会保険労務士会, 兵庫県行政書士会

10:00 ~ 12:30 兵庫県土地家屋調査士会館 会議室

無料・予約不要

■お問い合わせ■

主催: 阪神・淡路まちづくり支援機構

神戸市中央区橋通 1-4-3

兵庫県弁護士会館内

TEL 078-362-8700

(受付時間 午前 9:00 ~ 正午 / 午後 13:00 ~ 午後 17:00)



阪神淡路 20 年



■ 第 4 分科会 ご案内

『1.17 と 3.11 から考える土業の社会的役割と 来るべき大災害に備えて』専門技術者と参加者による ディスカッション

主幹：公益社団法人日本技術士会近畿本部
協力：一般社団法人兵庫県建築士事務所協会

日時：平成 27 年 1 月 31 日 (土) 10:00～12:30

場所：神戸市立婦人会館 4F「つばき」

参加費：無料 定員：50 名



内容とプログラム

近年の二大災害から復興まちづくりの現状と課題を検討し、パネリスト 4 名(技術士・建築士)による土業の社会的役割についての話題提供とこれからの防災、減災についてディスカッションをします。

司会：福岡悟氏（日本技術士会近畿本部長）

- ① 西濱靖雄氏（日本技術士会近畿本部登録防災研究会）
「地域防災力向上に向けた支援活動～災害を想像する力を育てよう～」
- ② 貴志義昭氏（日本技術士会近畿本部建設部会代表(部会長)）
「1.17 と 3.11 の復興計画に関わって」
- ③ 竹中郁雄氏（（一社）兵庫県建築士事務所協会副会長）
「官民一体での安全・安心まちづくりー阪神淡路大震災からの復興ー」
- ④ 石川浩次氏（日本技術士会近畿本部防災支援委員会委員長）
「南海トラフ巨大地震の襲来に備えて、技術者達は～平成 7 年兵庫県南部地震及び平成 23 年東北地方太平洋沖地震の経験を生かして～何をすべきか？」

まとめと総括

福岡悟氏（日本技術士会近畿本部長）

— H.27.1.31 1.17～3.11 来たるべき災害に備える連携力 第 4 分科会 申込書 —

| | | | | | |
|------|--|------|---|--------|--|
| 氏名 | | 住所 | 〒 | | |
| 専門部門 | | | | | |
| 所属 | | 電話番号 | | E-mail | |